

令和5年度第11回教育研究評議会議事録

日 時 令和6年2月7日(水)
開会 午後3時00分
閉会 午後5時50分
場 所 第1会議室(オンライン会議併用)
出席者 鈴木学長、長谷山理事長、米澤局長、榮坂副学長、渡邊副学長、平山副学長、
川口副学長、村田副学長、亀田教授、新井教授、小原教授、八久保教授、
三浦教授、小西教授、柳教授、藤井教授、森田教授、南教授、桝井教授、
星野教授、高橋教授、大津教授、升井教授
欠席者 安齋事務部長
陪 席 檜山監事、伊藤監事

議事に先立ち、令和5年度第10回教育研究評議会議事録が確認された。

議 事

1 教員の選考について

(1) 社会環境系教授の選考について

学長から、選考委員会から選考結果について報告があった旨説明があり、選考委員会委員長の井上教授から別紙(資料1-1)に基づき、選考の経過及び結果について報告があった。

引き続き、教育研究評議会規程第6条第2項の規定に基づき可否投票を行った。
投票の結果、崔希燮氏が教授適格者として承認された。

(2) 応用化学系准教授の選考について

学長から、選考委員会から選考結果について報告があった旨説明があり、選考委員会委員長の新井教授から別紙(資料1-2)に基づき、選考の経過及び結果について報告があった。

引き続き、教育研究評議会規程第6条第2項の規定に基づき可否投票を行った。
投票の結果、近藤寛子氏が准教授適格者として承認された。

(3) 機械電気系准教授の選考について

学長から、選考委員会から選考結果について報告があった旨説明があり、選考委員会委員長の星野教授から別紙(資料1-3-1~1-3-2)に基づき、選考の経過及び結果について報告があった。

引き続き、教育研究評議会規程第6条第2項の規定に基づき可否投票を行った。
投票の結果、加賀谷勝史氏が准教授適格者として承認された。

(4) 情報通信系准教授又は助教の選考について

学長から、選考委員会から選考結果について報告があった旨説明があり、選考委員会委員長の升井教授から別紙(資料1-4-1~1-4-2)に基づき、選考の経過及び結果について報告があった。

引き続き、教育研究評議会規程第6条第2項の規定に基づき可否投票を行った。
投票の結果、桐原崇亘氏が准教授適格者として承認された。

(5) 機械電気系助教の選考について

学長から、選考委員会から選考結果について報告があった旨説明があり、選考委員会委員長の森田教授から別紙(資料1-5-1~1-5-2)に基づき、選考の経過及び結果について報告があった。

引き続き、教育研究評議会規程第6条第2項の規定に基づき可否投票を行った。投票の結果、川合政人氏が助教適格者として承認された。

(6) 情報通信系助教の選考について

学長から、選考委員会から選考結果について報告があった旨説明があり、選考委員会委員長の榊井教授から別紙(資料1-6-1~1-6-2)に基づき、選考の経過及び結果について報告があった。

引き続き、学長から、今回の助教選考については適任者がいなかったことから選考委員会の任務は完了としたい旨説明があり、審議の結果、承認された。

2 大学院担当教員の選考について

(1) 機械電気工学プログラム、共創工学専攻

学長から、議題1-(3)で審議のあった加賀谷勝史氏の大学院担当教員の選考について申し出があった旨説明の後、別紙(資料2-1)に基づき説明があった。

引き続き、学長から、本評議会の議題1-(3)の審議において、実質的に大学院担当の資格審査を行っていることから、可否投票を行わずに承認願いたい旨の説明があり、審議の結果、加賀谷勝史氏が大学院担当教員(M合及びD合)として承認された。

(2) 情報通信工学プログラム、共創工学専攻

学長から、議題1-(4)で審議のあった桐原崇亘氏の大学院担当教員の選考について提案する旨説明があり、別紙(資料2-2)に基づき説明の後、可否投票を行った。

投票の結果、桐原崇亘氏が大学院担当教員(M合及びD合)として承認された。

(3) 応用化学プログラム、共創工学専攻

学長から、議題1-(2)で審議のあった近藤寛子氏の大学院担当教員の選考について提案する旨説明があり、別紙(資料2-3)に基づき説明の後、可否投票を行った。

投票の結果、近藤寛子氏が大学院担当教員(M合及びD合)として承認された。

3 令和6年度教員評価制度について

学長から、令和5年12月8日開催の教員評価専門部会の議を経て提案する旨説明の後、平山副学長から別紙(資料3、参考資料1~2)に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

4 北見工業大学DX推進機構の設置等について

学長から、令和6年1月29日開催の運営戦略会議及び学術情報委員会(持ち回り)の議を経て提案する旨説明の後、柴坂副学長及び情報図書課長から別紙(資料4-1~4-3)に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

5 各機構長等について

学長から、次期大学総括理事・学長候補者の柴坂俊雄氏から、副理事、学長補佐及び図書館長予定者について、以下のとおり報告を受けた旨説明があった。

副理事	村田 美樹 氏
学長補佐(スタートアップ担当)	鈴木 聡一郎 氏
学長補佐(GX戦略担当)	渡邊 康玄 氏
学長補佐(DX推進担当)	升井 洋志 氏

学長補佐（I R担当）	中村 文彦 氏
学長補佐（知的財産・産学連携担当）	三枝 昌弘 氏
図書館長	平山 浩一 氏

引き続き、学長から、各学科長及び共創工学専攻主任について、榮坂俊雄氏から以下のとおり報告を受けた旨説明があった。

地球環境工学科長	森田 慎一 氏
地域未来デザイン工学科長	新井 博文 氏
共創工学専攻主任	小西 正朗 氏

引き続き、企画総務課長から、別紙（資料5）に基づき各機構長等の選考方法等について説明があった。

- ・教育支援機構長について
学長から、教育支援機構長には村田美樹氏を任命したい旨提案があり、承認された。
- ・学術推進機構長について
学長から、学術推進機構長には川口貴之氏を任命したい旨提案があり、承認された。
- ・DX推進機構長について
学長から、DX推進機構長には平山浩一氏を任命したい旨提案があり、承認された。

また、学長から、本学の教授又は准教授のうちから各機構長の推薦に基づき、教育支援機構、学術推進機構及びDX推進機構の各センター長等を次のとおり任命する旨報告があった。

学生教育支援センター長	川村 みどり 教授
キャリアアップ支援センター長	川村 みどり 教授
アドミッションセンター長	村田 美樹 教授
地域循環共生研究推進センター長	南 尚嗣 教授
冬季スポーツ科学研究推進センター長	榊井 文人 教授
プロジェクト研究推進センター長	星野 洋平 教授
オホーツク農林水産工学連携研究推進センター長	新井 博文 教授
地域と歩む防災研究センター長	高橋 清 教授
社会連携推進センター長	内島 典子 教授
知的財産センター長	三枝 昌弘 准教授
共用設備センター長	吉田 裕 教授
ものづくりセンター長	林田 和宏 教授
国際交流センター長	星野 洋平 教授
情報処理センター長	升井 洋志 教授
AI コモンズ長	升井 洋志 教授

学長から、その他の各センター長等を次のとおり任命する旨報告があった。

保健管理センター長	奥村 貴史 教授
環境安全センター長	川口 貴之 教授
技術部長	三浦 則明 教授
広報戦略室長	川村 みどり 教授

学長から、令和6年1月26日開催のアドミッションセンター運営会議及び令和6年1月29日開催の運営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、村田副学長から別紙（資料6）に基づき説明があり、種々議論の結果、承認された。

7 北海道オホーツク総合振興局と国立大学法人北海道国立大学機構北見工業大学との連携と協力に関する包括連携協定締結について

学長から、令和6年1月29日開催の運営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、企画総務課長から別紙（資料7）に基づき説明があり、種々議論の結果、承認された。

8 水素エネルギー利活用の検討に係る連携協定締結について

学長から、令和6年1月29日開催の運営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、研究協力課長及び地域循環共生研究推進センター長から別紙（資料8-1～8-2）に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

9 進出企業定着・地域活性化支援事業に係る連携協定締結について

学長から、令和6年2月5日開催の運営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、村田副学長から別紙（資料9）に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

10 教員の懲戒について

学長から、令和5年8月30日開催の令和5年度第1回懲戒審査委員会において、北海道国立大学機構職員就業規則第39条に該当すると疑われる事案について、調査委員会による審査報告書が懲戒審査委員会に提出され、令和5年12月18日及び令和6年1月29日開催の同委員会において本学教員の懲戒に関する審査を行った結果、本事案は懲戒処分が相当であるとの結論に至り、北海道国立大学機構職員懲戒規程第2条第6項に基づき、懲戒処分案について本評議会に意見聴取を行いたい旨、説明があった。

引き続き、調査委員会委員長である榮坂副学長から、別紙（資料10-1）に基づき、「調査の体制」、「事案の概要」、「調査委員会の審査経緯」及び「調査と総括」について説明があった。

その後、企画総務課長から、別紙（資料10-2）に基づき本学の処罰に関する種類及び程度について、別紙（資料10-3）に基づき審査事由説明書についてそれぞれ説明の後、学長から改めて懲戒処分案について説明があり、種々議論の結果、原案の通り承認された。

報告事項

- 1 令和6年能登半島地震の発生に伴う北見工業大学入学者選抜の対応について（資料11）（村田副学長）
- 2 令和5年度共同研究の受入れについて（資料12）（研究協力課長）
- 3 令和5年度受託研究の受入れについて（資料13）（研究協力課長）
- 4 令和5年度奨学寄附金の受入れについて（資料14）（研究協力課長）

次回教育研究評議会 令和6年3月8日（金）午後3時00分開催予定